

緑の基本計画市民ワークショップ(第1回)開催

清須市では、平成21年度より緑地の保全と緑化の推進など、将来の清須市内の「緑」のあるべき姿と実現するための方策を定める「清須市緑の基本計画」の策定を進めています。計画策定にあたっては、市民の皆さまからの多様なご意見を反映するため、平成21年度には市民アンケートを実施しました。平成22年度は市民ワークショップやパブリックコメントを実施して更に市民の皆さまからご意見をお聞きします。

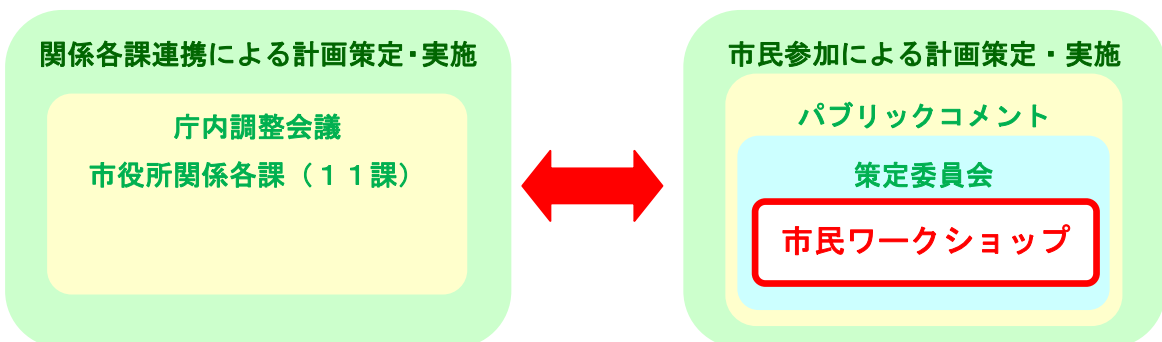
中でも計画段階から市民の皆さまと市が共に意見を交わしながら計画づくりを進めるワークショップは、より市民の皆さまの目線、ニーズを反映した計画になるものと期待されます。加えて市民の皆さんと市が共に考えることで、共通の目標を持つことができ、力を合わせて計画の実現にむけて取り組むことができるものと考えられます。



ワークショップとは、

参加者が専門家の助言を得ながら計画づくりや問題解決などを行う研究集会です。

緑の基本計画策定の進め方（イメージ）



緑の基本計画市民ワークショップ(第1回) 8月2日(月)開催



日頃より緑に関する活動をはじめ、広くまちづくりに携わって見える18名の市民の皆さまとっしよに「将来の清須市の緑」について考えるため、8月2日(月)に第1回目の市民ワークショップを開催しました。ワークショップでは、緑と関係の深い**環境保全、レクリエーション、防災、景観**の視点から清須市の緑を考えてもらうため、4つのグループに分かれて話し合っていたいただき、グループ毎に取りまとめた意見を発表していただきました。発表の中には、思いもつかない意見や提案もあり大変有意義なワークショップとなりました。次回のワークショップでは、今回のワークショップの結果を実現していくための具体的な方策などについて考えます。

市民ワークショップでの主なご意見

○環境保全グループ



～緑豊かな自然環境、守りたい・育てたい緑～

- ①普段の生活の中で自然を感じる緑
街路樹のコスモス・チューリップ
- ②清須市の中で自然を感じる緑
神社・仏閣の緑・清洲城周辺・公園
- ③守りたい・育てたい緑から連想されるもの
庄内川(みずとぴあ庄内)・新川・五条川
駅周辺を憩いの場所にしたい
- ④その他の意見
木陰や季節の花がほしい



こんな緑のある清須市にしたい

- ①年間を通して観賞できる緑がほしい
- ②河川敷や駅周辺をきれいにしたい
- ③緑のメンテナンスを明確に、水やりや雑草とりなどをルール化してほしい

○レクリエーショングループ



～みんなにげんき・安らぎを与える緑～

- ①普段の生活の中でげんき・安らぎを感じる緑
憩いとふれあいのある緑の創出
- ②現在の市内で余暇活動を満喫できる場所
五条川の桜並木、夢の森公園
- ③こんな施設がほしい
スポーツ施設、遊具、ウォーキングロード
- ④その他の意見
地域で道路脇の手入れをする(防犯につながる)
生垣の奨励、農業体験の促進



こんな緑のある清須市にしたい

- ①休耕中の水田・畑を緑化して、緑を豊かにしたい
- ②街路樹に花を植えたり、生垣などで四季を感じられる道路にしたい
- ③多くの世代が集まれる施設や水と緑を感じられる施設がほしい

○防災グループ



～安心・安全を与える緑～

- ①防災に役立つ緑(施設)
災害復旧時に自衛隊の基地となる公園
大きな芝生の公園
- ②市内において安全・防犯管理が必要な場所
公園内の樹木は背が低く、死角がないように
- ③街路樹などを植えたい場所
都市計画道路
- ③その他の意見
子どもの声がする公園、キャンプが可能な公園



こんな緑のある清須市にしたい

- ①災害復旧の拠点基地となる公園がほしい
- ②落ち葉による火災の心配がない街路樹にしてほしい
- ③人が集い、子どもの声がするなど、まちの活気を生み出す公園がほしい

○景観グループ



～美しいまち・歴史を感じる緑～

- ①普段の生活の中で緑・歴史を感じる緑(施設)
河川敷の公園・工場の緑化・春日地区の水田
- ②美しい街並みにしたい場所
清洲城周辺の空間・河川敷
- ③好きな景観又は街並み
美濃街道の町家、チューリップ、神社の樹木、
河川敷からの景色
- ④その他の意見
空地の緑化、花や木を植える場所の提供



こんな緑のある清須市にしたい

- ①記念樹などを植える場所を提供してほしい
- ②水田や畑をきれいにし、空地を活用し緑化を進めてほしい
- ③美濃街道の景観を改善するため、生垣などで四季が感じられる道路にしたい

緑の基本計画市民ワークショップ(第2回)開催

緑の基本計画市民ワークショップ(第2回) 8月30日(月)

2回目の市民ワークショップでは、はじめに昨年度に実施しました緑の基本計画策定にともなう現況調査や市民アンケートの結果などを参加者に説明しました。続いて、環境保全、レクリエーション、防災、景観の4つの視点から清須市の緑の将来像について考えた1回目のワークショップを踏まえ、2回目のワークショップでは、清須市の緑の将来像を実現するための施策や提案などについてグループごとに考え、発表してもらいました。



市民ワークショップにおける主な意見・提案

○環境保全グループ

第1回目のまとめ こんな緑のある清須市にしたい

- ①年間を通して観賞できる緑のある公園づくり
- ②河川敷にある遊歩道の整備・JR枇杷島駅の植樹帯をきれいにする。
- ③維持管理を考えた公園づくり・緑化づくり



第2回目のまとめ 緑豊かな自然環境、守りたい・育てたい緑

- ①年間を通して観賞できる緑のある公園づくり
 - ・清須市の植生に応じた樹木を植樹する。
 - ・四季の樹木を配置する。
 - ・市民が話し合っ公園づくりを考える。
- ②河川敷にある遊歩道の整備・JR枇杷島駅の植樹帯をきれいにする。
 - ・新川左岸堤防側に遊歩道を整備して、そこに人が集まるイベントが必要である。
 - ・JR枇杷島駅は、環境にあった樹木などを植樹する。
- ③維持管理を考えた公園づくり・緑化づくり
 - ・行政と市民の協働が必要である。



具体的な施策・提案

- ・水辺の散策路をイベントなどでPRする。
- ・記念日に植樹できる場所をつくる。
- ・緑のカーテンを普及する。
- ・市街化調整区域(水田・畑)を活用する。
- ・市に合った植物を調査し紹介する。
- ・維持管理は協働し役割を分担する。

○レクリエーショングループ

第1回目のまとめ こんな緑のある清須市にしたい

- ①休耕中の田畑を利用した緑化計画を推進する。
- ②四季を感じられる街並みにする。
- ③子どもから大人まで、色々な人が集まれる総合的な施設づくり
- ④水と緑を一体的に感じられる施設づくり



第2回目のまとめ みんなにげんき・安らぎを与える緑

- ①休耕中の田畑を利用した緑化計画を推進する。
 - ・子どもたちに環境学習活動の一環として野菜作りを体験させる。野菜作りを通して地域のコミュニケーションを高めるとともに、食育に関心を持たせるきっかけづくりとする。
- ②四季を感じられる街並みにする。
 - ・歩道などの花壇を市民グループに開放して、管理してもらう。市は市民グループに対して支援が必要である。
 - ・学校の通学路を中心に花壇をつくり、防犯を兼ねて地域のボランティアに管理してもらう。
- ③子どもから大人まで、色々な人が集まれる総合的な施設づくり
 - ・公園から遊歩道を伸ばした場所にユニークな公園をつくり、楽しめるイベントを市民が企画し、実施する。
 - ・水と木に囲まれたやすらげる公園をつくる。
- ④水と緑を一体的に感じられる施設づくり
 - ・公園施設などで使用する電力は太陽光、風力発電などでまかない、その設備を見て、学べるようにする。



具体的な施策・提案

- ・市民参加の農園・果樹園をつくる。
- ・市のグリーンマップをつくる。
- ・記念樹を植える事業を普及する。
- ・遊歩道をつくり、イベントを実施する。
- ・壁面、屋上緑化を推進する。
- ・エコな公園づくりを進める。
- ・休耕地を活用する。
(ひまわり・コスモス・レンゲの畑)
- ・生垣の助成策をつくる。

環境保全グループ提案の緑のゾーニング(案)

はるひ夢の森公園

五条川(遊歩道)

清洲城・清洲公園

総合グランウド公園

市民参加の農園



○防災グループ

第1回目のまとめ こんな緑のある清須市にしたい

- ①災害復旧時に拠点基地となる大きな公園づくり
- ②人が集い、子どもの声ができる安全な公園づくり
- ③落ち葉による火災などの心配がない街路樹にする。
- ④ヘドロが堆積しないよう河川や排水路を整備する。



第2回目のまとめ 安心・安全を与える緑

- ①災害復旧時に拠点基地となる大きな公園づくり
 - ・庁舎に近い場所で、ヘリポートをつくる。
- ②人が集い、子どもの声ができる安全な公園づくり
 - ・シンボルツリーを中心に植え、芝生のある公園をつくる。
 - ・小中学校のグラウンドに芝生を植える。
 - ・ドッグランのある公園をつくる。
- ③落ち葉による火災などの心配がない街路樹にする。
 - ・いちょうなど燃えにくい樹木や市民のニーズにあった樹木を植える。
- ④ヘドロが堆積しないよう河川や排水路を整備する。



具体的な施策・提案

- ・貝殻山貝塚の整備拡大にむけて取り組んでいく。
- ・災害の拠点となる大きな公園を検討する。

○景観グループ

第1回目のまとめ こんな緑のある清須市にしたい

- ①大きな木で日陰ができるよう植樹する。
- ②景観を改善し、美濃街道を歩行者が安全に通行できるようにする。
- ③春日周辺の畑や水田をきれいにする。
- ④五条川や新川などの川の改善を進める。
- ⑤記念樹を植える場所を確保する。
- ⑥JR枇杷島駅東口駅前広場の植樹帯を市民の力できれいにする。



第2回目のまとめ 美しいまち・歴史を感じる緑

- ①大きな木で日陰ができるよう植樹する。
 - ・市内の植生リストを作成し、地域の景観に合った樹木に変えていく。
- ②景観を改善し、美濃街道を歩行者が安全に通行できるようにする。
 - ・美濃街道の空き地を活用し、ポケットパークを整備する。
 - ・道路のカラー舗装化と電線の地中化を検討する。
 - ・神社・仏閣の情報を散策者などに提供し、憩いの場として利用できる仕組みづくりを進める。
- ③春日周辺の畑や水田をきれいにする。
 - ・市民農園用として畑や水田を貸し出す。運営はボランティアなどで行う。
 - ・休耕地に景観を配慮して、コスモスやヒマワリなどを植える。
- ④五条川や新川などの川の改善を進める。
 - ・新川は、護岸が多いがポットなどに植えられた花も美しいので、花の看板を掲げると良い。
 - ・橋の配色を変えて、一目見て清須とわかるようにする。
 - ・新川、庄内川の散策路に樹木を植えて、緑の川沿いを形成する。五条川は桜並木とする。
- ⑤記念樹を植える場所を確保する。
 - ・卒業記念など、何らかの記念日に自分で木を買って植えられる場所があると良い。
(市内に場所がなければ他市町の山地などを借り受けて、市民の森づくりをめざす。)



具体的な施策・提案

- ・ 不用な樹木の預託地の確保と制度の作成を検討する。
- ・ 駅前や河川などの植樹などを市民協働にて取り組める仕組みづくりを考える。

市民ワークショップを終えて

今回、2回にわたりワークショップ参加者の皆さまから貴重なご意見・ご提案をいただきました。日頃より様々な活動に取り組んでおられる皆さまとあって、本当に清須市のことを良く知っていらっしゃることに感心しました。またグループワークでも活発に議論が展開されていたことがとても印象的でした。その結果、皆さまから清須市の緑に関する多くの想いをいただくことができました。

市では今後、参加者の皆さまからお聞きした想いをできる限り計画に反映し、実行していくことが求められます。庁内連携のもと、あるいは市民の皆さまとの協力のもと、一歩一歩、着実に清須市の緑化の推進にむけて取り組んでいきたいと思っております。

わずか2回のワークショップでしたが、市民の皆さまとこうして一緒にお話をしながら、清須市の緑について考えることができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。ワークショップ参加者の皆さまには、心よりお礼申し上げます。

